

科目名	現場実習 5								年度	2026
英語科目名	Practicum 5								学期	後期
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制	3年次	必/選	選1	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	内田・鈴木・杉浦		教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		

【科目の目的】

アスレティックトレーナーとして必要な項目を、自発的に実施できることを目的とする

【科目の概要】

学内外でアスレティックトレーナーとしての実務経験を積んでいきます。

【到達目標】

スポーツトレーナーの果たすべき役割・業務を体験を通じて理解する。

【授業の注意点】

報告書提出すること。

身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	選手のパフォーマンス向上のためのコンディショニングが実施できる		コンディショニング実施する際には助言および指導が必要である		コンディショニングは見学に留める必要がある
到達目標 B	外傷障害に合わせたリコンディショニングが実施できる		外傷障害に合わせたリコンディショニングの際には助言および指導が必要である		外傷障害に合わせたリコンディショニングは見学にとどめる必要がある
到達目標 C	種目特性に応じたリコンディショニングが実施できる		種目特性に応じたリコンディショニングの際には助言および指導が必要である		種目特性に応じたリコンディショニングは見学にとどめる必要がある
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

配布プリント

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポート・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		現場実習 5			年度	2026
英語表記		Practicum 5			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	総合実習	アスレティックトレーナーに必要な技術や知識を取得し、選手の状態、環境、季節、チーム状況に応じて必要な手順を踏み、一人のトレーナーとして自立した活動を行うことができる	1 コンディショニング	プレーヤーの状態に合わせて、ストレングストレーニング、SAQトレーニング、エンデュランストレーニング、バランストレーニング、ストレッチを臨機応変に実施することができる	2	
2						
3						
4			2 リカバリー	プレーヤーの状態に応じたクーリングや浸水介入、水分補給、軽運動、ストレッチなど、リカバリーを実施できる	2	
5						
6						
7						
8						
9			3 リコンディショニングに必要な検査測定評価	リコンディショニングに必要な、身体所見、形態計測、筋力測定、ROM、柔軟性、全身持久力などの検査測定、評価ができる。	2	
10						
11						
12			4 外傷障害に合わせたリコンディショニング	外傷障害に応じたリスク管理を理解し、リコンディショニングを実施することができる	2	
13						
14						
15			5 種目特性に応じたリコンディショニング	種目特性に応じたリスク管理を理解し、総合的なリコンディショニングを実施することができる。	2	
16						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等